

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-210	22-325	慶應義塾大学 加藤眞三
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>Noni fruit extract ameliorates alcohol-induced hangover symptoms by reducing the concentrations of alcohol and acetaldehyde in a Sprague Dawley rat model and a human intervention study.</p> <p>ノニ果実エキスは、<b>Sprague Dawley</b> ラットモデルおよびヒト介入試験において、アルコールおよびアセトアルデヒド濃度を低下させることにより、アルコール誘発性二日酔い症状を改善する。</p>		
<b>執筆者</b>		
Kim KJ, Park SY, Park TG, Park HJ, Kim YJ, Kim EJ, Shin W,		
<b>掲載誌</b>		
Food Funct. 2023 Feb 6;14(3):1750-1760. doi: 10.1039/d2fo02835b.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
ノニ、果実エキス、二日酔い、アセトアルデヒド		36727425
<b>要 旨</b>		
<p>ノニが様々な健康効果を示すことは、様々な研究で報告されている。本研究では、<b>Sprague Dawley</b> ラットと健常人を対象に、ノニ果実エキスの単回投与、無作為化、二重盲検、クロスオーバー、プラセボ対照試験において、二日酔い症状の緩和に対する単一の活性機能成分としての機能を評価することを目的とした。</p> <p>ラットにノニ果実エキスを体重 1kg あたり 50mg または 100mg (B.W.) と HOVENIA を経口投与した。血中エタノール (EtOH) およびアセトアルデヒド濃度は、B.W.kg あたり 100mg 投与群で EtOH 投与群よりも有意に低かった。アルコール脱水素酵素およびアルデヒド脱水素酵素活性は、100 mg kg<sup>-1</sup> B.W.群で増加する傾向があった。</p> <p>ヒト試験では、30 人の被験者にプラセボまたはノニ果実エキス (1g) が投与された。ノニ果実エキス投与群では、アルコールの最大濃度 (Tmax) がプラセボ投与群よりも有意に速い時点を示した。また、アルコール摂取後 40 分と 720 分の血中アセトアルデヒド濃度と下痢、アセトアルデヒドの 40 分から 60 分の曲線下面積は、ノニ果実エキス群でプラセボ群と比較して有意に減少した。Qualitative Interaction Trees によると、飲酒量が多く (週に 15 杯以上)、二日酔いの総スコアが高い (27.5 点以上、33 点以上) 36 歳以下の被験者は、血中アセトアルデヒド濃度が有意に低く、二日酔いの症状も軽かった。</p> <p>これらの結果から、ノニ果実エキスはアルコールとアセトアルデヒド濃度を低下させることにより、二日酔いの症状を改善する可能性があることが示された。</p> <p>訳者注 ; 面白い内容の研究ではありますが、科学的エビデンスとしてまだ高いものではありません。</p>		